

2006年12月1日

報道各位

住友金属鉱山株式会社  
住友商事株式会社

### 豪州ノースパークス鉱山における新規鉱体の開発について

住友金属鉱山株式会社（東京都港区 社長：福島 孝一）と住友商事株式会社（東京都中央区 社長：岡 素之）は、英国のリオ・ティント社（CEO：リー・クリフォード）と共同で操業中のノースパークス鉱山（豪州ニューサウスウェールズ州）において新たな鉱体（E48 鉱体）を開発することを決定しました。開発費用総額は 212 百万豪ドルであり、この内住友金属鉱山と住友商事は豪州子会社を通じそれぞれ 28 百万豪ドル（13.3%）、14 百万豪ドル（6.7%）を負担します。

ノースパークス鉱山は、1994 年から銅・金鉱床を採掘し銅精鉱を生産しています。同鉱山では、現在稼行中の E26 鉱体に次ぐ採掘対象として E48 鉱体の開発を検討してまいりましたが、この程開発に着手することになりました。可採鉱量は約 35 百万トン、含有銅品位 1.04%、金品位 0.46 g/t と推定しています。採鉱法は E26 鉱体と同じくブロックケービング法を採用します。また E48 鉱体は E26 鉱体に近く、立坑などの既存のインフラを利用することができます。今後ニューサウスウェールズ州政府の開発許可を取得した後工事に着手し、2009 年 4 月に採掘を開始する計画です。

本件開発によりノースパークス鉱山は、鉱山寿命が 2009 年から 2016 年まで 7 年間延長されます。

以上

（本件に関するお問い合わせ先）

住友金属鉱山株式会社

総務部広報室 大場 浩正

TEL：03-3436-7705

FAX：03-3434-2215

住友商事株式会社

広報部 報道チーム 寺島 英之

TEL：03-5166-3100

FAX：03-5166-6203

参考資料：ノースパークス鉱山の概要

#### 1) 位置

ノースパークス鉱山は、オーストラリアのニューサウスウェールズ州、シドニーの西方約 300km に位置する。

#### 2) 沿革

ノースパークス鉱山は、リオ・ティント社の 100%子会社であるノースマイニング社が鉱区を所有し、SMM オセアニア社（住友金属鉱山株式会社の 100%子会社）が 13.3%、SC ミネラルリソース社（住友商事株式会社の 100%子会社）が 6.7%の権益を保有している。

1993 年 7 月に住友金属鉱山および住友商事はノースブロークンヒル・ペコ社（以下：NBHP 社）とジョイントベンチャー契約を締結し、1994 年に操業を開始した。

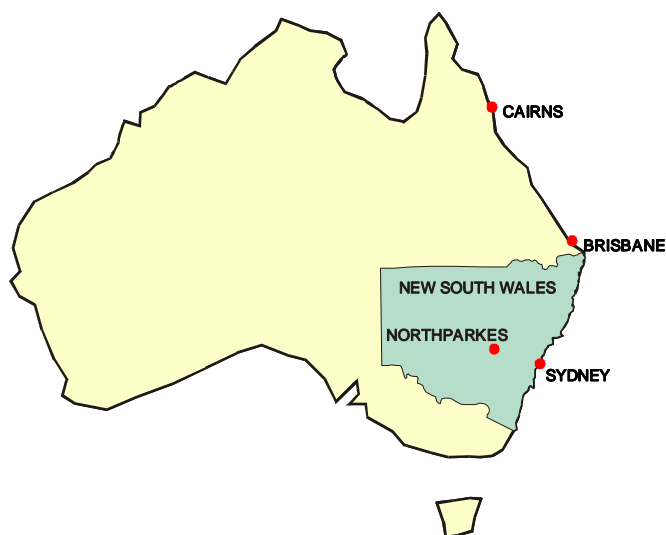
1995 年に NBHP 社はノース社に社名変更し、その後 2000 年 8 月、リオ・ティント社に吸収合併された。

#### 3) 鉱床

ノースパークス鉱山の鉱床は斑岩銅鉱床<sup>1</sup>である。現在発見されている 4 つの鉱体のうち、2 鉱体（E22 鉱体、E27 鉱体）については既に生産を終了しており、現在は E26 鉱体からのみ坑内掘り（ブロックケーピング法<sup>2</sup>）で銅鉱石を出鉱している。主要銅鉱石鉱物は、斑銅鉱と黄銅鉱であり、金を随伴する。

#### 4) 操業

ノースパークス鉱山の従業員は直営約 220 名。2006 年は 5.5 百万トンの鉱石を処理し、約 16 万トンの銅精鉱を生産する計画である。精鉱は日本や他国へ輸出している。



ノースパークス鉱山位置図

<sup>1</sup> 斑岩銅鉱床：斑岩などの貫入岩に伴う大規模・低品位な鉱染状銅鉱床で、環太平洋造山帯、アンデス造山帯に広く分布する。銅の資源として最も重要な鉱床である。

<sup>2</sup> ブロックケーピング法：鉱体の下部を広範囲にわたって下透かしすることにより、その上部の鉱体を自然崩落させ、砕かれた鉱石をドローポイントから回収する採鉱法。